データで見る
熊本大学
2026

A LOOK AT KUMAMOTO UNIVERSITY
THROUGH DATA 2026

熊本大学
Kumamoto University

CONTENTS

1 理念・目的 …… 1
2 沿革・組織 …… 2
3 学生数 …… 3
4 入学状況 …… 4
5 卒業後の進路 …… 5
6 教育 …… 6
7 課外活動 …… 8
8 学生支援 …… 10
9 研究 …… 11
10 産学連携 …… 14
11 地域連携 …… 16
12 国際交流 …… 19
13 附属図書館 …… 21
14 病院 …… 22
15 財務 …… 23
16 職員 …… 24
17 キャンパス …… 25

1 理念・目的

― 理　念 ―

本学は、教育基本法及び学校教育法の精神に則り、総合大学として、知の創造、継承、発展に努め、知的、道徳的及び応用的能力を備えた人材を育成することにより、地域と国際社会に貢献することを目的とする。

― 目　的 ―

教　育

個性ある創造的人材を育成するために、学部から大学院まで一貫した理念のもとに総合的な教育を行う。

学部では、幅広く深い教養、国際的対話力、情報化への対応能力及び主体的な課題探求能力を備えた人材を育成する。

大学院では、学部教育を基盤に、人間と自然への深い洞察に基づく総合的判断力と国際的に通用する専門知識・技能とを身につけた高度専門職業人を育成する。

また、社会に開かれた大学として、生涯を通じた学習の場を積極的に提供する。

校章

研　究

高度な学術研究の中核としての機能を高め、最先端の創造的な学術研究を積極的に推進するとともに、人類の文化遺産の豊かな継承・発展に努める。

また、総合大学の特徴を活かして、人間、社会、自然の諸科学を総合的に深化させ、学際的な研究を推進することにより、人間と環境の共生及び社会の持続可能な発展

熊本大学
Kumamoto University
コミュニケーションマーク

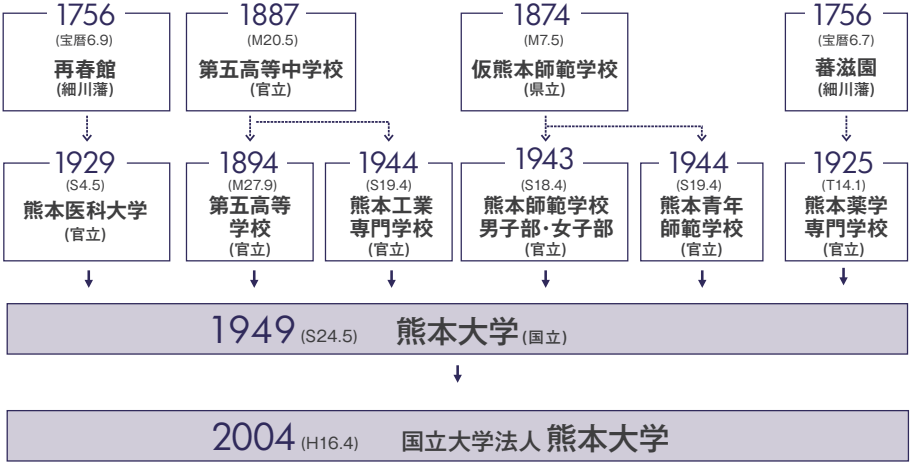
地域貢献・国際貢献

地方中核都市に位置する国立大学として地域との連携を強め、地域における研究中枢的機能及び指導的人材の養成機能を果たす。世界に開かれた情報拠点として、世界に向けた学術文化の発信に努めることにより、地域の産業の振興と文化の向上に寄与する。

また、知的国際交流を積極的に推進するとともに留学生教育に努め、双方向的な国際交流の担い手の育成を目指す。

2 沿革・組織

再春館から270年　五高からの139年の歴史と伝統
地域に根ざし、国際的に存在感を示す総合大学



学部・学環

- 文学部＊
- 教育学部＊
- 法学部＊
- 理学部＊
- 医学部＊
- 薬学部＊
- 工学部＊
- 情報融合学環＊
- 共創学環＊

大学院

- 人文社会科学研究部
- 社会文化科学教育部（博）＊
- 先端科学研究部
- 自然科学教育部（博）＊
- 生命科学研究部
- 医学教育部（修、博）＊
- 保健学教育部（博）＊
- 薬学教育部（博）＊
- 教育学研究科（教）＊

＊教育組織は
9学部等 6大学院

専攻科	特別支援教育特別専攻科
別　科	養護教諭特別別科
研究所	発生医学研究所 産業ナノマテリアル研究所

施設・機構等

- 熊本大学病院
- 研究開発戦略本部
- グローバル推進機構
- 教育・学生支援機構
- 先進軽金属材料国際研究機構
- 軽金属材料研究拠点
- 先進チタン国際研究センター
- 先進マグネシウム国際研究センター
- 半導体・デジタル研究教育機構
- キャンパスミュージアム推進機構
- 国際先端医学研究機構
- ヒトレトロウイルス学共同研究センター
- 附属図書館　保健センター
- 障がい学生支援室　文書館
- 大学情報分析室　キャンパス整備戦略室
- ダイバーシティ推進室

学内共同教育研究施設

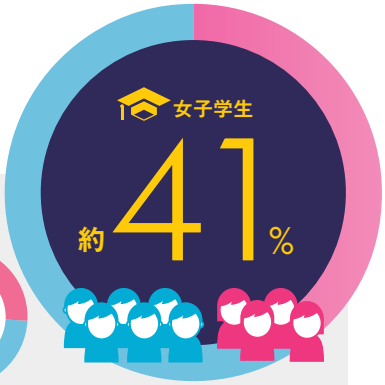
- 永青文庫研究センター
- くまもと水循環・減災研究教育センター
- 先進マグネシウム国際研究センター
- 生命資源研究・支援センター
- 環境安全センター
- 埋蔵文化財調査センター

（R8.5.1現在）

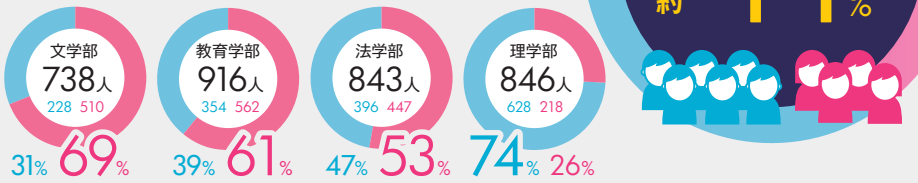
3 学生数

附属学校園を含め
11,282人

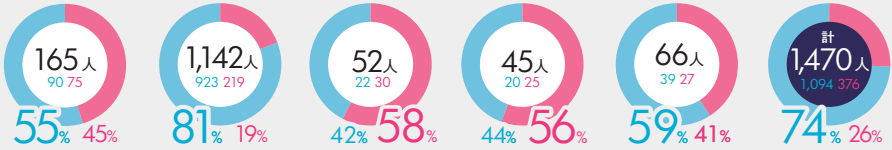
男子学生 6,706人
女子学生 4,576人



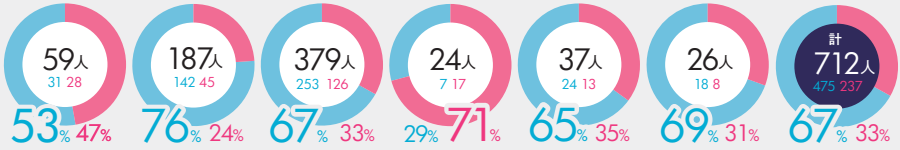
学部・学環別



大学院別（修士・博士前期課程）



大学院別（博士・博士後期課程）



専門職大学院

教育学研究科（教職大学院の課程）
66人 32 34 48% 52%

専攻科・別科

特別支援教育特別専攻科	9人
養護教諭特別別科	43人
計	52人

附属学校園

幼稚園	94人	中学校	473人
小学校	647人	特別支援学校	59人
		計	1,273人

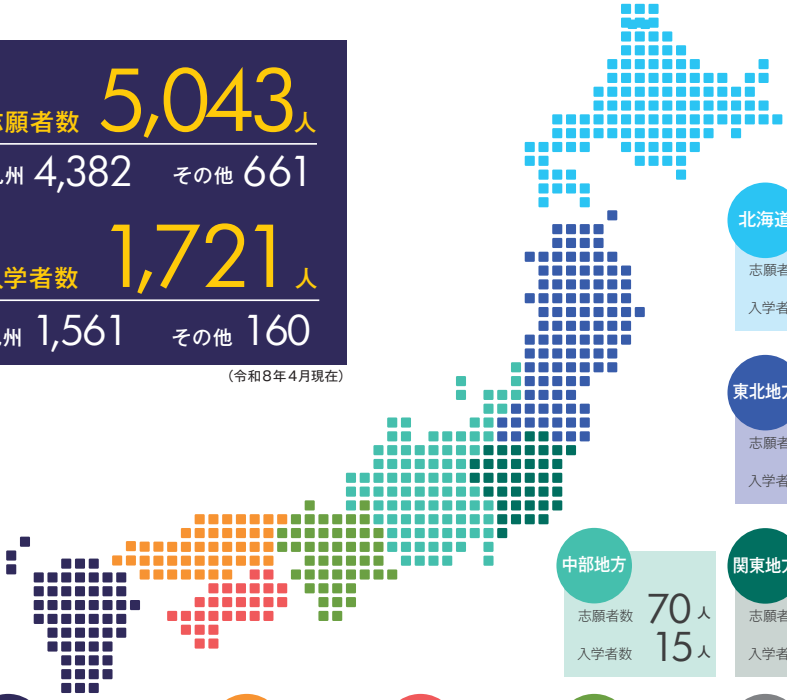
（R8.5.1現在）

4 入学状況

志願者数 5,043人
九州 4,382　その他 661

入学者数 1,721人
九州 1,561　その他 160

（令和8年4月現在）



北海道
志願者数 21人
入学者数 7人

東北地方
志願者数 10人
入学者数 4人

中部地方
志願者数 70人
入学者数 15人

関東地方
志願者数 140人
入学者数 24人

九州地方
志願者数 4,382人
入学者数 1,561人

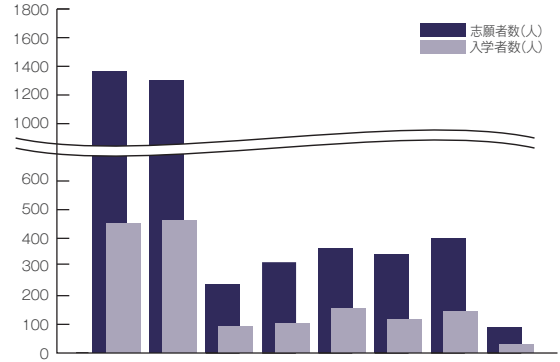
中国地方
志願者数 206人
入学者数 60人

四国地方
志願者数 65人
入学者数 25人

近畿地方
志願者数 107人
入学者数 22人

その他※
志願者数 42人
入学者数 3人

※高卒認定試験合格者、私費外国人留学生など



九州各県	熊本	福岡	佐賀	長崎	大分	宮崎	鹿児島	沖縄
志願者数(人)	1,363	1,302	235	286	363	340	402	91
入学者数(人)	452	464	92	103	157	119	144	30

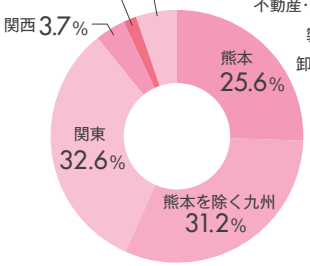
区分		入学定員	入学者
文学部		160人	168人
教育学部		170人	185人
法学部		190人	195人
理学部		180人	191人
医学部	医学科	109人	109人
	保健学科	144人	147人
薬学部		90人	93人
工学部		473人	487人
情報融合学環		60人	64人
共創学環		80人	82人
合計		1,656人	1,721人

5 卒業後の進路

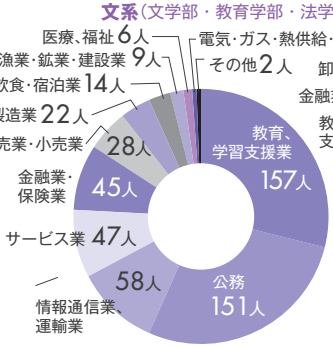


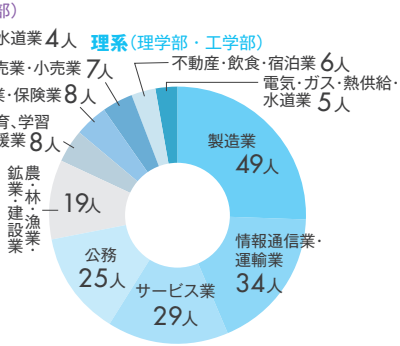


■地域別就職状況



■業種別就職状況





- 57%が熊本を含む地元九州（本社所在地）で就職。
  74%が熊本を含む地元九州で勤務。
  地域に貢献する人材を多数輩出しています。
- 公務員就職者数178名は九州トップクラスです。
- 令和７年度 学部卒業生（1,744人）の37%が大学院等へ進学。
  理工系学部においては72%が大学院へ進学しています。
- 学部卒業生の累計は、98,506人に達し、
  社会の各方面で活躍しています。

6 教育

3つのポリシー（一部抜粋）

卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

熊本大学の教育目標に鑑み、所定の単位を修得し、以下の資質・能力を身に付けた者に学士の学位を授与します。

深い教養と高い専門性を基に我が国や国際社会の発展に貢献（寄与）するための論理的な思考ができる。

多様な文化や価値観を持った人々と知性的なコミュニケーションを取ることができる。

社会情勢の変化を理性的に察知し、社会の抱える課題解決に自らの専門力を応用できる。

教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

熊本大学の目標を達成するために、学術性の高い教養教育、高度な専門教育及び地域の歴史・自然・文化に対する理解を深める教育を提供しています。各教育課程では、以下の方針に基づき教育カリキュラムを編成しています。

問題の本質を見極め論理的思考に基づき解決に導くために教養と専門をバランス良く学ぶことができる。

多様な文化や価値観を知り、グローバルな視点で考え、国際社会やその中にある地域で知性的に行動をするための知識と技能を身に付けることができる。

自ら目標を設定し、生涯に亘って様々な人々と協働して主体的に学ぶ姿勢を身に付けることができる。

入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

熊本大学では次のような人を求めます。

主体的な学びを通して高い教養と専門性を身に付け、人類社会の発展に貢献したいと思う人。

多様な文化や価値観を寛容に受け入れ、理性的判断に基づく対話ができる人。

新しい課題に意欲的に取り組み、理性ある行動ができる人。

グローバルな視野を持ちつつ、地域社会や世界が抱える課題の解決に貢献する意欲を持つ人。

学位授与数（令和７年度） 2,505人

学士 1,744人　修士 627人　博士 102人

教職修士（専門職） 32人

■ 資格取得状況

学部	資格名	取得者数
文学部	中学校教諭	13
	高等学校教諭	27
	学芸員	29
教育学部	小学校教諭	179
	中学校教諭	179
	高等学校教諭	167
	特別支援学校教諭	31
	幼稚園教諭	9
	養護教諭	30

学部	資格名	取得者数
理学部	中学校教諭	22
	高等学校教諭	56
	学芸員	9
医学部	医師国家試験	116
	看護師	70
	保健師	20
	助産師	9
	診療放射線技師	39
	臨床検査技師	37
薬学部	薬剤師	40

学部	資格名	取得者数
工学部	中学校教諭	0
	高等学校教諭	11

6 教育

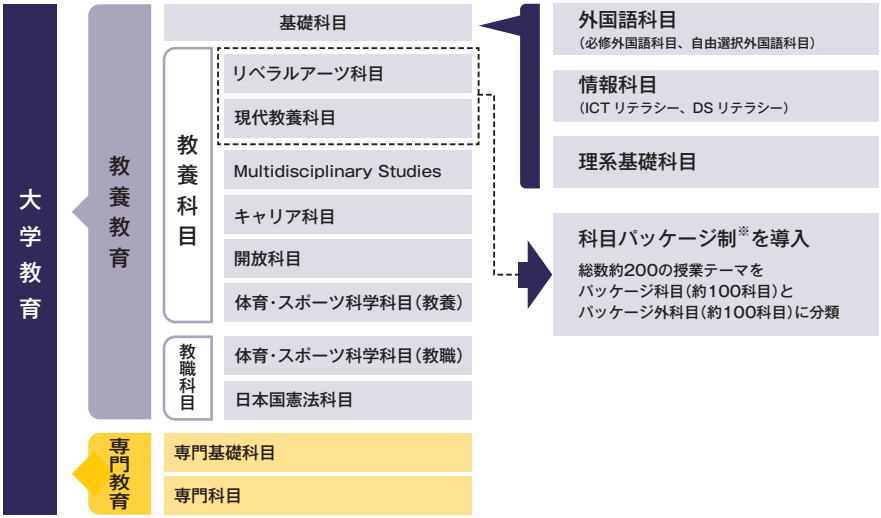
教員一人あたりの学生数
（令和８年５月１日現在）

10.9人



深い学びを保証する熊本大学の教養教育

熊本大学における教育体系



※教養教育科目パッケージ制（体系的な文理クロス履修）

「リベラルアーツ科目」及び「現代教養科目」の複数の科目を体系的なつながりをもったパッケージとして構成し、文系学部、情報融合学環及び共創学環の学生は自然・生命学系、理系学部の学生は人文・社会学系の中から、興味関心のあるパッケージを1つ選択し、パッケージ内の科目10単位の中から6単位以上を履修します。

文学部・教育学部・法学部・情報融合学環・共創学環の学生

第1パッケージ **環境を考える**	第2パッケージ **命を見つめる**
第3パッケージ **自然に触れる**	第4パッケージ **安全・安心に暮らす**

理学部・医学部・薬学部・工学部の学生

第5パッケージ **人間を探究する**	第6パッケージ **こころを科学する**
第7パッケージ **歴史を探究する**	第8パッケージ **ことばを科学する**
第9パッケージ **世界を探究する**	第10パッケージ **社会を科学する**

7 課外活動

紫熊祭実行委員会
熊本大学大学祭「紫熊祭」の実行委員会

体育会公認サークル

合気道部
アイスホッケー部
アーチェリー部
アメリカンフットボール部
空手道部
弓道部
剣道部
航空部
硬式庭球部
古武道部
サッカー部
自動車部
柔道部
準硬式野球部
少林寺拳法部
水泳部
ボート部
ソフトテニス部
体操競技部
ダイビング部
卓球部
馬術部
男子バスケットボール部
女子バスケットボール部
バトミントン部
男子バレーボール部
女子バレーボール部
男子ハンドボール部
女子ハンドボール部
フォークダンス部
硬式野球部
ヨット部
ラグビー部
陸上競技部
吹奏楽部
応援団
フットサル部
水球部

体育会公認サークル 38

文化部会公認サークル

マンドリンクラブ
フィルハーモニーオーケストラ
邦楽部
五葉会(茶道)
フォークソング研究会
熊本大学新聞社
ロック研究会
写真部
モダンジャズ研究会
映画研究部(Cinelab)
探検部
将棋部
書道部
美術部
文芸部
演劇部
C3(異文化サークル)
こんぺいとう(漫研)
天文部
放送部
麻雀部
Higo-Pella(アカペラ)
アコースティック研究会
クイズ研究会
百人一首同好会
サイクリング部
手話サークル(手笑顔)

文化部会公認サークル 27

[学部公認サークル]

法学部公認サークル
志法会

医学部公認サークル
医学部バレーボール部
医学部弓道部
医学部東洋医学研究会
医学部準硬式野球部
医学部フットサル部
医学部華道部
医学部薬学部卓球部
医学部アンサンブル部
医学部茶道部
医学部バドミントン部
医学部漕艇部
医学部ALS部
国際社会医療研究会
他

医学部保健学科公認サークル
くまぴあ　医学部保健学科バドミントンサークル
医学部保健学科硬式庭球部　オレンジプロジェクト
from K

薬学部公認サークル
硬式テニス部
準硬式野球部　バレーボール部　アンサンブル部
サッカー部　バスケットボール部　軽音部
バトミントン部

工学部公認サークル
熊本大学ロボコン部　からくりサークル　ECRプロジェクト
熊本大学学生災害復旧支援団体「熊助組」
盲学校用教材開発サークルSoleil(ソレイユ)
Kumamoto university Metaverse Architect(KuMA)

7 課外活動

課外活動における学生の活躍（令和７年度）

【団体】

団体名	種目名	種目等名	成績
吹奏楽部	ISMIR 2025（音楽情報科学分野での学術的に著名な国際会議）	Music program	演奏
柔道部	第65回全国国公立大学柔道優勝大会	女子3人制	3位
アーチェリー部	第 47 回 九州地区国立大学定期戦	男子団体の部	優勝
陸上競技部	第75回九州地区大学体育大会　陸上競技大会（夏インカレ）	4×400mR男子	優勝
弓道部	第62回九州学生弓道選手権大会	女子団体	優勝
	第62回九州学生弓道選手権大会	女子団体	最優秀射技校
	第62回九州学生弓道選手権大会	男子団体	最優秀射技校

【個人】

団体名	氏　名	所　属	大会等名	種目名	成績
柔道部	花岡　桜彩	教育学部　2年	第65回全国国公立大学柔道優勝大会	女子３人制	優秀選手
陸上競技部	仲里　拓真	教育学部　4年	秩父宮賜杯第78回西日本学生陸上競技対校選手権大会(西日本インカレ)	男子10000m決勝	3位
ヨット部	田上　萌	工学部　3年	2025年全日本学生シングルハンドレガッタ		2位
	藤井　琢巳	工学部　1年	2025年全日本学生シングルハンドレガッタ		3位
アーチェリー部	田村　湊	工学部　1年	第60回九州学生アーチェリー新人選手権大会	男子 経験者の部	優勝
アーチェリー部	田中　秀青	法学部　3年	第47回 九州地区国立大学定期戦	男子個人の部	優勝
	米森　愛美	教育学部　2年	第47回 九州地区国立大学定期戦	女子個人の部	優勝
陸上競技部	岩堀　純大	理学部　1年	第75回九州地区大学体育大会 陸上競技大会（夏インカレ）	男子三段跳決勝	優勝
陸上競技部	益永　聖司	自然科学教育部 博士前期課程 2年	第53回九州学生陸上競技選手権大会（秋インカレ）	男子1500m決勝	優勝
弓道部	平原　百花	文学部　4年	第62回九州学生弓道選手権大会	女子	最優秀射士賞



令和７年度学生表彰式

8 学生支援

学生相談室

キャンパスソーシャルワーカー 1名
事務職員 1名　事務補佐員 1名

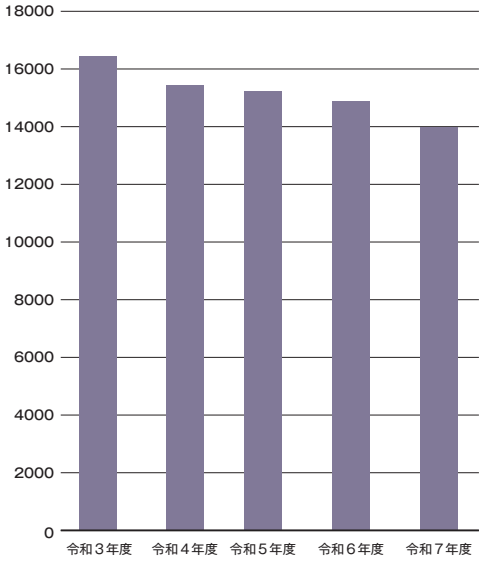
障がい学生支援室

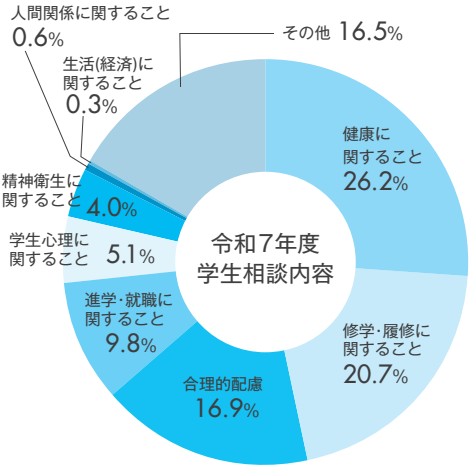
医師2名(兼任) 心理カウンセラー1名
キャンパスソーシャルワーカー 1名
事務補佐員 1名(兼任)

保健センター

医師 3名　公認心理師 2名
キャンパスソーシャルワーカー 1名
保健師1名 看護師1名 事務補佐員1名(兼任)

学生相談件数(のべ件数)





9 研究

学術論文被引用数

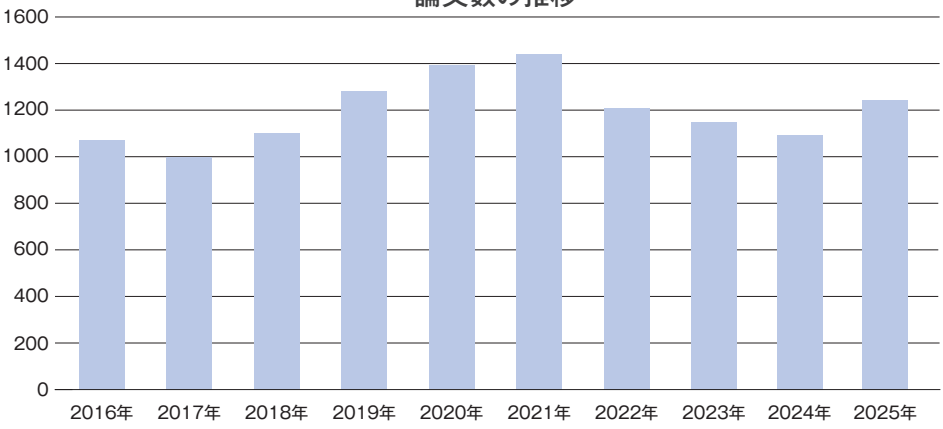
31位（国内）

- クラリベイト社「Essential Science Indicators」データベースを基に作成。
- データは、2016年1月～2026年4月の10年間の論文被引用数に係るデータ。
- 本ランキングは、大学のみならず研究所や企業などの研究機関も含んだ研究機関ランキングであり、大学ランキングではない。

【被引用数順位（対象：世界10,428機関）】

国内順位	世界順位	機関名	論文数	被引用数	平均被引用数	国内順位	世界順位	機関名	論文数	被引用数	平均被引用数
1	77	東京大学	101,274	2,386,195	23.56	19	859	自然科学研究機構	13,906	371,726	26.73
2	164	京都大学	68,823	1,549,360	22.51	20	964	千葉大学	17,775	321,115	18.07
3	285	大阪大学	53,272	1,049,774	19.71	21	1,037	岡山大学	17,318	293,730	16.96
4	302	東北大学	53,505	1,006,713	18.82	22	1,111	早稲田大学	16,558	274,820	16.6
5	379	理化学研究所	29,647	826,087	27.86	23	1,143	横浜市立大学	10,772	265,756	24.67
6	384	名古屋大学	41,393	813,775	19.66	24	1,167	順天堂大学	12,348	258,231	20.91
7	396	九州大学	40,119	790,808	19.71	25	1,187	東京医科歯科大学	12,731	254,563	20
8	407	東京科学大学	38,883	763,384	19.63	26	1,218	大阪公立大学	15,281	246,500	16.13
9	431	北海道大学	39,110	722,753	18.48	27	1,220	東京都立大学	7,904	246,098	31.14
10	545	筑波大学	28,758	588,744	20.47	28	1,266	金沢大学	13,966	235,452	16.86
11	598	物質・材料研究機構	16,827	540,422	32.12	29	1,276	国立天文台	6,351	233,539	36.77
12	610	慶應義塾大学	25,786	533,826	20.7	30	1,283	国立健康危機管理研究機構	8,454	232,393	27.49
13	630	東京工業大学	24,084	512,898	21.3						
14	683	産業技術総合研究所	23,911	464,558	19.43	31	1,330	熊本大学	12,294	224,675	18.28
15	738	広島大学	25,675	431,788	16.82	32	1,389	新潟大学	10,704	212,051	19.81
16	777	神戸大学	20,467	412,957	20.18	33	1,412	信州大学	11,126	207,949	18.69
17	785	科学技術振興機構	12,080	408,096	33.78	34	1,495	近畿大学	7,303	191,587	26.23
18	789	国立がん研究センター	11,377	406,018	35.69	35	1,529	長崎大学	11,841	187,038	15.8

論文数の推移



- クラリベイト社「InCites Benchmarking」を基に作成。
- 2016年～2025年の論文（Article, Review）が対象。

9 研究

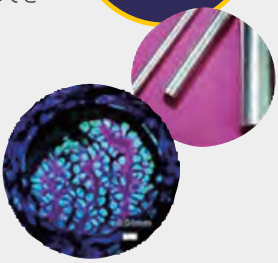
熊本大学では、世界最高水準の研究や若手研究者による研究、融合研究を推進する２つの研究支援事業を実施しています。

国際先端研究Σプロジェクト

国際的に卓越した教育研究拠点を形成し世界をリードする人材育成を実施してきた実績を持ち、本学を代表する世界最高水準の先端的・先導的研究拠点を形成しています。同拠点を中心としたプロジェクトにおいて学際的研究や研究組織の充実、多様な若手研究者の育成、共同利用・共同研究拠点の機能強化によってさらなる研究領域の拡大と高度化を図るための取組に対して支援します。

発生医学と幹細胞生物学の国際先端研究強化プロジェクト
国際先端ヒトウイルス感染症研究教育拠点の構築
二次元ナノマテリアル研究拠点形成プロジェクト
先進軽金属材料の教育研究プロジェクト

認定件数 4件



わかば研究推進事業

若手研究者を対象に既存の枠組みにとらわれない自由で挑戦的・融合的な研究を支援することで、若手研究者の育成と本学のプレゼンスの向上を目指します。

採択件数 4件

※2025年度現在

創発的研究支援事業

破壊的イノベーションにつながるシーズを創出する潜在性をもった科学技術に関する研究分野を対象に、失敗を恐れず長期的に取組む必要のある挑戦的・独創的な研究提案を支援するJSTの競争的研究費事業。
本事業は、博士号取得後15年以内の若手の研究者を対象としており、支援期間は、原則7年間（最大10年間）で5,000万円（上限）が支援されます。
2025年度の公募では、2,217件の応募があり、257件の研究課題が採択されました。

採択件数 4件
国内順位 15位

※JST 公表資料を基に熊本大学でランキング

9 研究

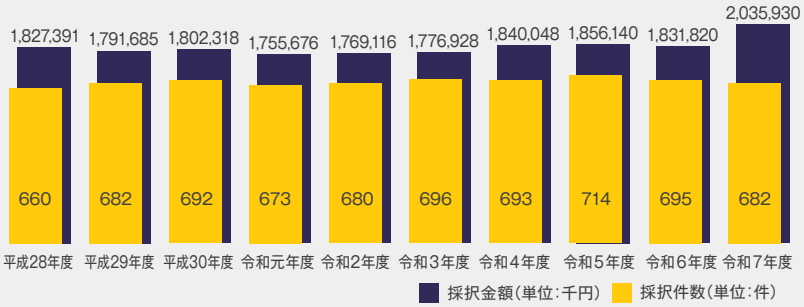
科学研究費（科研費）

本学の採択件数 682件

本学の採択金額
20億3,593万円
（直接経費＋間接経費）

22位（全国）
16位（国立大学）
13位（国立大学の研究者1人あたり※）

※研究者数は令和６年度の常勤教員数を元に算出



【令和７年度　採択件数の機関別順位】

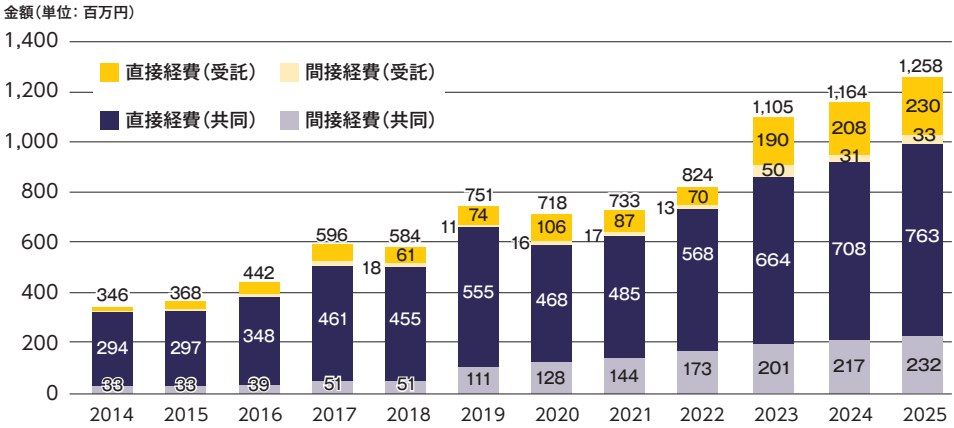
順位	機関名	採択件数	合計（千円）	順位	機関名	採択件数	合計（千円）
1	東京大学	3,992	21,547,630	13	早稲田大学	1,024	3,000,400
2	京都大学	2,813	13,901,810	14	慶應義塾大学	1,013	3,444,870
3	大阪大学	2,545	10,346,700	15	千葉大学	942	2,619,370
4	東北大学	2,248	9,806,420	16	金沢大学	903	2,320,630
5	九州大学	1,866	7,113,990	17	大阪公立大学	894	2,213,250
6	北海道大学	1,702	6,705,400	18	順天堂大学	794	1,750,320
7	名古屋大学	1,667	7,352,150	19	国立研究開発法人理化学研究所	723	4,078,360
8	東京科学大学	1,564	7,001,280	20	新潟大学	700	1,613,560
9	筑波大学	1,313	4,485,893	21	国立研究開発法人産業技術総合研究所	697	2,410,980
10	神戸大学	1,180	3,283,800	22	熊本大学	682	2,035,930
11	広島大学	1,138	3,108,950	23	日本大学	656	1,047,150
12	岡山大学	1,083	3,091,400	24	立命館大学	652	1,482,000

※「特別推進研究」、「新学術領域研究（研究領域提案型）」（計画研究、公募研究及び成果取りまとめ経費）、「学術変革領域研究（A）」（計画研究及び公募研究）、「学術変革領域研究（B）」（計画研究）、「基盤研究」、「挑戦的萌芽研究」、「挑戦的研究」、「若手研究」、「研究活動スタート支援」及び「国際共同研究加速基金（国際先導研究及び海外連携研究）」について分類。

10 産学連携

企業との共同研究・受託研究において獲得した民間資金額

未来投資戦略2018に掲げられ、目標としていた「企業から大学等への投資額を2025年度までに2014年度の3倍増」を3年連続で達成した。



産学連携実績（2024年度全国大学）

民間企業からの研究資金等受入額
（共同研究・受託研究・治験等・知的財産）

No.	機関名	受入額（千円）
1	東京大学	19,037,883
2	大阪大学	12,686,774
3	京都大学	10,869,768
4	東北大学	8,012,525
5	名古屋大学	5,148,687
6	東京工業大学	4,607,542
7	慶應義塾大学	4,597,987
8	九州大学	4,175,290
9	北海道大学	4,114,722
10	順天堂大学	3,430,070
11	神戸大学	3,052,686
12	早稲田大学	2,830,097
13	筑波大学	2,405,415
14	広島大学	2,059,018
15	大阪公立大学	1,915,797
16	千葉大学	1,665,589
17	北里大学	1,527,596
18	東京医科歯科大学	1,298,117
19	金沢大学	1,286,008
20	信州大学	1,282,105
21	長崎大学	1,258,957
22	熊本大学	1,226,888
23	岡山大学	1,117,884
24	横浜市立大学	1,076,354
25	名古屋工業大学	1,052,989
26	東京農工大学	984,636
27	山形大学	961,007
28	昭和大学	955,037
29	岐阜大学	898,267
30	東京理科大学	897,015

民間企業との共同研究費受入額

No.	機関名	受入額（千円）
1	東京大学	16,258,911
2	大阪大学	10,516,390
3	京都大学	7,623,458
4	東北大学	7,062,893
5	名古屋大学	4,429,258
6	東京工業大学	4,058,378
7	九州大学	2,959,148
8	慶應義塾大学	2,955,203
9	北海道大学	2,461,202
10	順天堂大学	2,072,372
11	筑波大学	2,063,879
12	神戸大学	1,873,108
13	早稲田大学	1,769,068
14	広島大学	1,739,777
15	大阪公立大学	1,270,741
16	東京農工大学	1,042,177
17	東京医科歯科大学	957,106
18	信州大学	882,025
19	千葉大学	873,162
20	熊本大学	835,114
21	東京理科大学	823,998
22	金沢大学	806,669
23	名古屋工業大学	804,709
24	弘前大学	799,312
25	長崎大学	691,361
26	横浜国立大学	667,350
27	徳島大学	633,033
28	岐阜大学	621,336
29	群馬大学	612,211
30	山形大学	571,590

2026/2/12 文部科学省科学技術・学術政策局産業連携・地域振興課
大学等における産学連携等実施状況について2024年度実績　より

10 産学連携



寄附講座等

奨学を目的とする民間等からの寄附により設置・運営し、教育研究の充実をはかります。

（R8.4.1現在）

部局名	寄附講座名称
大学院生命科学研究部	画像診断解析学寄附講座
	免疫・アレルギー・血管病態学寄附講座
	医薬品包装学寄附講座
	加齢医学寄附講座
	IVR・血管内治療学寄附講座
病　院	不整脈先端医療寄附講座
	心血管治療先端医療寄附講座
	新生児学寄附講座
	脳血管障害先端医療寄附講座
	地域医療・総合診療実践学寄附講座
	消化器癌先端治療開発学寄附講座
	産科麻酔学寄附講座
	感染症対応実践学寄附講座
	心臓リハビリテーション寄附講座
	脳卒中治療学寄附講座
	循環器予防医学先端医療寄附講座
	産科学寄附講座
半導体・デジタル研究教育機構	フロンティアデータサイエンス化血研寄附講座

共同研究講座等

民間機関等からの共同研究経費を有効に活用して、本学の自主性及び主体性の下に設置運営し、本学の教育研究の進展及び充実をはかります。

（R8.4.1現在）

部局名	共同研究講座名称	共同研究相手先
大学院生命科学研究部	画像動態応用医学共同研究講座	キヤノンメディカルシステムズ株式会社
	再春館・自然×サイエンス共同研究講座	株式会社再春館製薬所
	サイエンスファーム 生体機能化学共同研究講座	サイエンスファーム株式会社
	再春館・先進老化医学共同研究講座	株式会社再春館製薬所
	先進運動器疾患病態学共同研究講座	医療法人財団聖十字会西日本病院
	脳・心血管機能解析学共同研究講座	ネクセラファーマジャパン株式会社
半導体・デジタル研究教育機構	半導体プロセス評価共同研究分野	ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング株式会社
ヒトレトロウイルス学共同研究センター	抗ウイルス療法・血液疾患研究共同研究講座	一般財団法人化学及血清療法研究所
生命資源研究・支援センター	生殖工学共同研究分野	九動株式会社
産業ナノマテリアル研究所	ワンタイムエナジー共同研究講座	株式会社ダイセル
国際先端医学研究機構	造血幹細胞工学共同研究講座	一般財団法人化学及血清療法研究所
教育学部	みらいの科学者・DX 人材共創共同研究講座	熊本市
病院	ヘルスケア AI 共創共同研究講座	ソフトバンク株式会社

11 地域連携

包括的連携協定等

地域とともにある大学をめざし、積極的な社会貢献活動を行うため、自治体・研究機関・企業等と、60の連携協定を締結しています。大学の人材や知的財産を地域の活性化や課題解決に活かします。

（R8.8.1現在）

自治体等	天草市（旧本渡市）	平成17年　8月23日
	葦北郡芦北町	平成18年 12月　4日
	熊本市	平成19年　4月26日
	水俣市	平成19年　8月　4日
	熊本県　一般社団法人 アジア法務サポートセンター	平成24年 11月30日
	菊池市	平成26年　8月18日
	益城町	平成29年　4月12日
	荒尾市	平成29年　9月22日
	公益財団法人 阿蘇地域振興デザイン センター	平成29年 12月18日
	合志市	平成30年 12月12日
	熊本県	平成31年　2月20日
	南阿蘇村	令和元年　8月30日
	多良木町	令和２年　12月21日
	八代市	令和３年　3月　2日
	玉名市	令和３年　8月　3日
	菊陽町	令和８年　3月16日
研究機関等	財団法人阿蘇火山博物館 久木文化財団	平成18年　4月21日
	放送大学	平成22年 11月20日
	北陸先端科学技術大学院 大学	平成28年　7月27日
	国立研究開発法人 産業技術総合研究所 国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術 総合開発機構 熊本県	平成29年　3月17日
	国立大学法人東京大学 先端科学技術研究センター 熊本県	平成29年　4月10日
	国立大学法人鹿児島大学	平成29年 10月26日
	国立大学法人鹿児島大学	平成31年　3月18日
	国立大学法人富山大学	令和３年　3月15日
	公立大学法人熊本県立大学	令和７年　7月　1日
	学校法人東海大学	令和４年　1月11日
	国立研究開発法人 理化学研究所	令和４年　6月17日
	熊本県 国立大学法人九州大学	令和５年 12月26日
	独立行政法人 日本貿易振興機構	令和６年　2月21日
	国立大学法人東北大学	令和７年　3月29日
	国立大学法人東京藝術大学	令和７年　1月25日
	学校法人立命館	令和７年　9月22日
企業等	富士電機システムズ株式会社	平成17年　8月23日
	DOWA ホールディングス 株式会社	平成19年　2月16日
	株式会社熊本日日新聞社	平成23年　2月23日
	特定非営利活動法人 NEXT 熊本	平成23年　4月13日
	不二ライトメタル株式会社	平成23年　9月　1日
	熊本県 不二ライトメタル株式会社 株式会社日本医療機器技研	平成27年　9月28日
	熊本県　株式会社肥後銀行 一般社団法人熊本県工業連 合会　株式会社リバネス	平成28年　2月　9日
	日立造船株式会社　熊本県	平成28年　2月15日
	熊本県 熊本県商工会議所連合会 ミュージックセキュリ ティーズ株式会社 熊本県商工会連合会 熊本県中小企業団体中央会 熊本県中小企業家同友会	平成28年 12月26日
	株式会社あつまるホール ディングス	平成29年　5月　9日
	熊本市　熊本県立大学 株式会社 NTT ドコモ	平成30年 10月22日
	日本ユニシス株式会社	平成30年 12月12日
	九州産業交通ホールディン グス株式会社 株式会社マイスティア	平成31年　4月17日
	株式会社肥後銀行	令和３年　6月30日
	株式会社三菱 UFJ 銀行	令和３年 11月10日
	株式会社熊本銀行	令和４年　2月　1日
	KM バイオロジクス株式会社	令和４年　2月16日
	株式会社テレビ熊本	令和４年　3月　7日
	熊本経済同友会	令和４年　5月　9日
	GE ヘルスケア・ジャパン 株式会社	令和４年 10月25日
	株式会社ダイセル	令和５年　5月　8日
	ＴＳＭＣ	令和６年　3月21日
	医療法人桜十字及び熊本 バスケットボール株式会社	令和６年　4月　2日
	TSMC 慈善財団及び菊陽町	令和７年　4月17日
	総合メディカルグループ 株式会社	令和８年　2月　4日
	株式会社読売新聞西部本社	令和８年　4月14日
	東京海上日動火災保険 株式会社	令和８年　7月13日
	株式会社熊本日日新聞社	令和８年　7月27日

11 地域連携

地域再生人材育成塾（未来創造塾）

地域課題と企業課題を結びつけ、ローカルイノベーションが沸き起こる共創の場づくりとして、地場企業の若手経営者や後継者らを対象とした「地域再生人材育成塾（未来創造塾）」を熊本県内外11地域で開講しています。



未来創造塾2025 合同講義（令和７年９月）

令和7年度地域再生人材育成塾(未来創造塾) 修了生

熊本県外で実施している未来創造塾の修了生も含む
令和7年度までの未来創造塾の修了生（累積人数）は 541 人。

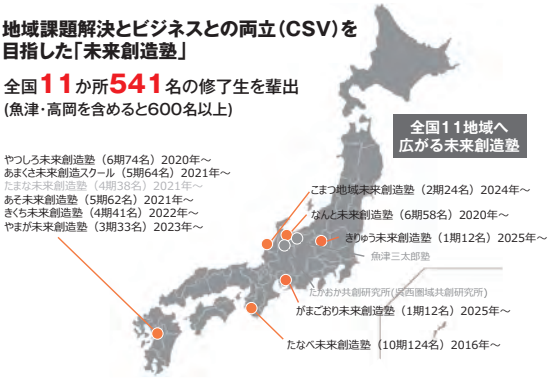
120人

持続可能な新たなリカレントエコシステムの構築

熊本大学では、高校での連携講義や都市圏企業人材の越境学習を通じ、高校生から社会人までが地域課題を学び、実践へつなげる人材育成に取り組んできました。今年度は、日本商工会議所青年部（日本YEG）との覚書締結を契機として、未来創造塾の取組が全国11地域へ広がっており、大学・自治体・経済団体が連携し、世代や組織、地域を越えた学びと実践が連鎖する人材育成の仕組みを全国規模で構築しています。

地域課題解決とビジネスとの両立（CSV）を目指した「未来創造塾」

全国11か所541名の修了生を輩出
(魚津・高岡を含めると600名以上)





日本YEGとの覚書締結式（令和７年６月）

多様な連携で全国に広がる学びと共創



日本YEGが参加した養成講座（令和7年6月）

組織の枠を越えたコーディネーター養成講座

熊本大学は、地域や組織の枠を越えて学び合い、全国各地の未来創造塾の運営を支えるコーディネーターの養成に取り組んでいます。熊本大学と自治体職員が実施してきたコーディネーター養成講座には、日本YEGとの連携協定に基づきYEGメンバーも参加しました。講座では、未来創造塾の意義や運営ノウハウを共有するとともに、地域の多様な主体をつなぎ、対話と共創を促すために必要な知識や手法をより実践的に学んでいます。



こまつ地域未来創造塾 修了式（令和８年１月）

「こまつ地域未来創造塾」から始まる地域人材育成の深化と広がり

小松商工会議所と熊本大学が共催する「こまつ地域未来創造塾」は、日本YEGとの連携に基づく最初の取組として、地域事業者を対象とした人材育成を実施しています。地域課題や自社の強みを捉え直し、多様な主体との対話を通じて、地域課題の解決に資するビジネスプランの構築と実践を目指しています。石川県小松市での実施を皮切りに、現在は群馬県桐生市・愛知県蒲郡市にも展開しており、今後も実施地域の拡大を予定しています。

11 地域連携

生涯学習

開かれた大学づくりと多様な制度で、社会人の方の生涯学習をお手伝いしています。

正規課程の学生として
（社会人学生）

社会人特別入試

社会人を積極的に大学の正規の課程の学生として受け入れるため、一般の志願者とは異なった特別の選抜方法を行う制度です。筆記試験を免除又は軽減し、小論文や面接等を中心として、経験や勉学意欲を見ることに主眼をおいた選考を行います。

昼夜開講制

社会人が入学後、正規の課程で容易に学習できるよう、平日の昼間だけでなく夜間等にも授業や研究指導を行う制度です。社会人の勤務・生活形態に応じた学修が可能となるように履修方法、授業時間帯に配慮しています。

正規課程以外の学生として
（研究生・科目等履修生）

研究生

本学の学部または大学院において、特定の専門事項について研究を行う学生です。入学後は、定められた期間、特定の指導教員の下で研究を行います。

科目等履修生

本学の学部や大学院の授業科目のひとつ又は複数を受講する学生です。通常の学生と同様に、期末試験等を受けてその科目の単位を修得することが可能です。この単位は、後に大学に入学した場合、修得した単位として認定されることがあります。

公開講座など、地域の皆様へ様々な学習機会を提供しています。

公開講座 14講座

受講者数 690人

（令和7年度実績）

包括的連携協定数 58機関

自治体等16機関、研究機関等16機関、企業等26機関

令和7年度
学生ボランティア参加者数（のべ人数） 488人

12 国際交流

■国際交流協定

熊本大学は、地域から世界規模の課題解決の中核となる、東アジア・プラス(※1)の教育研究拠点大学を目指し、「Global&Regional」のスローガンのもと、海外のトップ大学との交流を積極的に推進しており、世界の 51 カ国・地域、254 機関と国際交流協定を締結しています。

（令和8年5月現在）

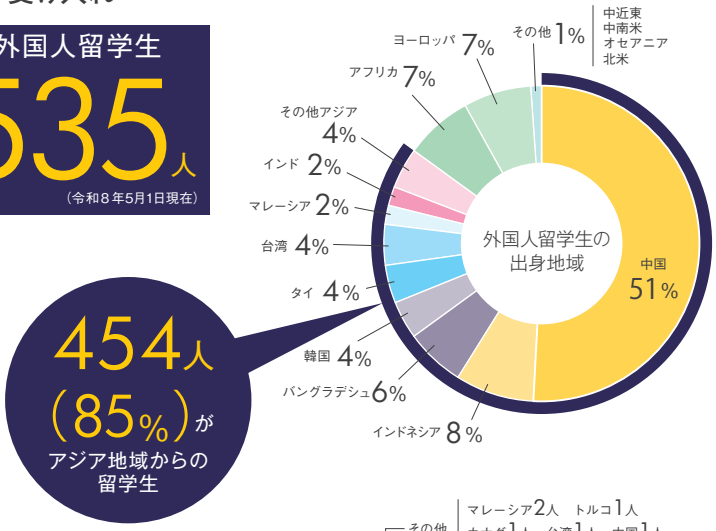
※1 東アジア・プラス：東アジア、東南アジア、インドほか

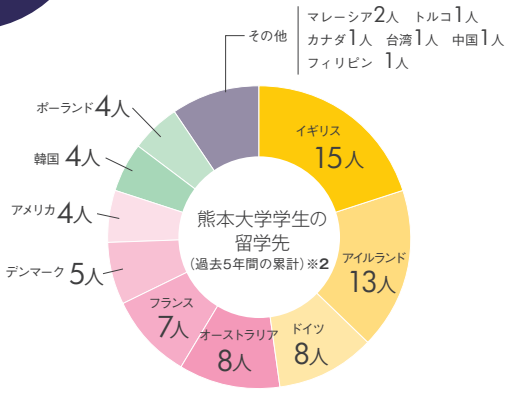
■留学生の派遣・受け入れ

外国人留学生

535人

（令和8年5月1日現在）





※2 学生交流協定を締結している大学への3ヶ月以上1年以内の派遣のみの集計

■研究者の派遣・受け入れ

令和７年度は、538人の研究者を海外に派遣し、473人の研究者を受入れるなど、活発に国際交流を行っています。

12 国際交流

7カ国・地域 8つの海外オフィス

留学生に関する業務、本学と外国の研究者による共同研究、学術・教育交流の推進及び本学の情報発信等を行う海外の拠点として、海外オフィスを設置しています。

熊本大学韓国KAISTオフィス



熊本大学インドネシアITSオフィス



熊本大学スーダンオフィス



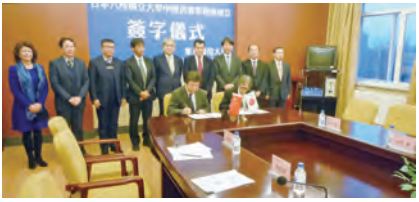
熊本大学台湾南台オフィス



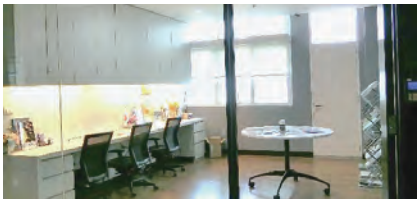
熊本大学タンザニアオフィス



国立六大学長春事務所



国立六大学バンコク事務所



国立六大学スラバヤ事務所



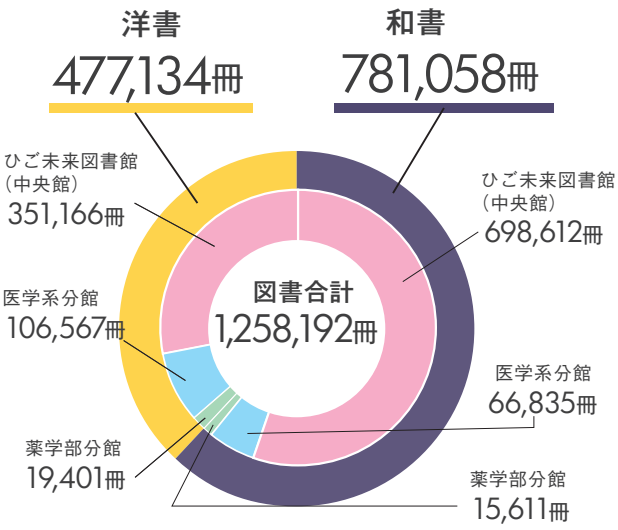
13 附属図書館



蔵書数
125 万冊以上

電子ジャーナル
34,000 タイトル以上

附属図書館は、ひご未来図書館（中央館）【黒髪北キャンパス】、医学系分館【本荘キャンパス】、薬学部分館【大江キャンパス】の3館で構成され、合わせて年間約32万人の入館者と、約45,000冊の館外貸し出しがあります。（令和7年度実績）



ひご未来図書館（中央館）は平日午後10時まで開館し、中央館および医学系分館は土日・休日も開館するなど、社会人や地域の方にも積極的に学習の機会を提供します。開館時間の詳細はホームページをご覧ください。
https://www.lib.kumamoto-u.ac.jp/

熊本大学学術リポジトリにより、本学の研究者が作成した学術研究成果物（論文や学会発表資料など）を、電子的な形態で保存し、インターネット上で世界に向けて公開しています。
https://kumadai.repo.nii.ac.jp/

ひご未来図書館(中央館)には、会話しながら学ぶことのできるラーニングコモンズ（HigoBankLearning Commons）を設置しています。日常的に、学びを深める場として多くの学生に活用されています。

14 病院

診療科 33科

ベッド数合計 845床

病院職員 2,326人



（R8.6.1現在）

診療状況

（令和7年度）

外来 のべ患者数 352,248人 1日平均患者数 1455.57人

入院 のべ患者数 265,807人 1日平均患者数 728.24人

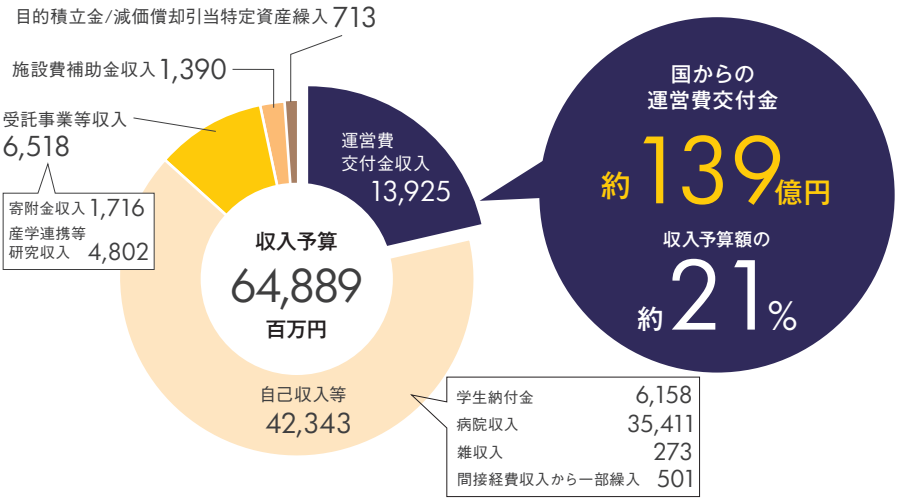
■ 病院は、県下で唯一の特定機能病院として、また地域医療の最後の砦として、地域の医療機関との緊密なネットワークのもとに、難治性疾患の治療や臓器移植をはじめとする高度な医療の実践に取り組んでいます。また「都道府県がん診療連携拠点病院」、「エイズ治療中核拠点病院」、「熊本県肝疾患診療連携拠点病院」、「がんゲノム医療拠点病院」、「熊本県基幹型認知症疾患センター」など、種々の疾患の治療における地域の中核的な役割を担っています。

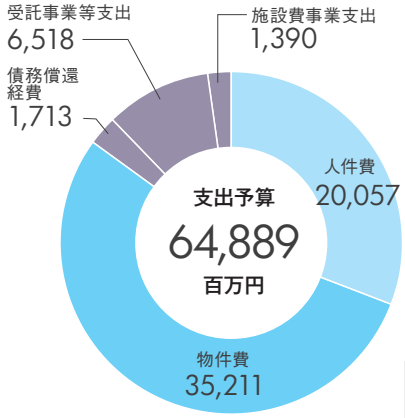
■ 病院では、最高レベルの医療を安全に提供するために、手術支援ロボット（ダヴィンチXi）や新生児用救急車の導入、ハイブリッド手術室の設置など最先端の診療基盤の整備を進めるとともに、診療体制の強化を進めています。

15 財務

収入・支出予算額

令和８年度の予算額は **648億円**





国民一人あたりの負担額 166円
（令和７年度）

※業務実施コスト÷総人口（12,281万人）
（令和8年3月現在確定値：総務省統計局）

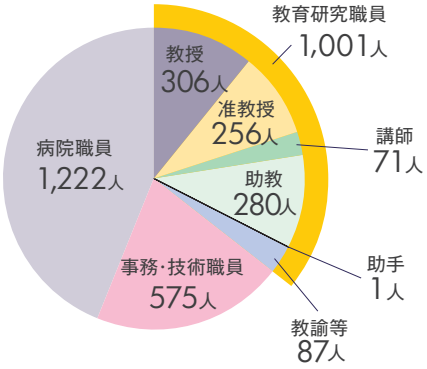
16 職員

スタッフ数合計 2,798人

うち教育研究職員 1,001人

（R8.5.1現在）

※育児休業者等を含む。
※有期雇用職員、再雇用職員等を除く。
※教員には個別契約職員を含む。

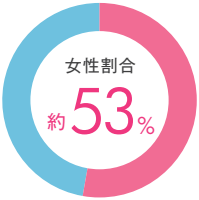


男女比

■職員全体

男性 / 女性

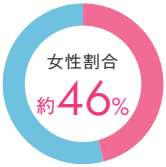
1,322人 / 1,476人



■事務・技術職員

男性 / 女性

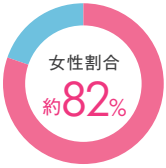
311人 / 264人



■病院職員

男性 / 女性

221人 / 1,001人



■教授

男性 / 女性

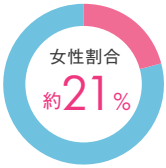
276人 / 30人



■准教授

男性 / 女性

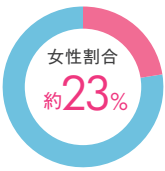
202人 / 54人



■講師

男性 / 女性

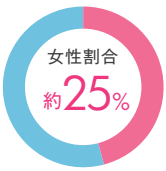
55人 / 16人



■助教

男性 / 女性

209人 / 71人



学内保育施設等

・こばと保育園（本荘キャンパス）
・大学病院院内保育所（本荘キャンパス）
・大学病院病児保育室「Mimi」（本荘キャンパス）
・託児ルーム（黒髪キャンパス）


こばと保育園


託児ルーム

17 キャンパス

熊本大学は、黒髪キャンパス、本荘キャンパス、大江キャンパスの３つのキャンパスをはじめとする約68万㎡の総面積をもち、本学のシンボルである五高記念館は重要文化財に指定されています。
このほかにも、重要文化財や登録文化財となっている建物や、保存・活用されている施設があり、これらの建物・施設・資料等からなる熊本大学博物館の実現を目指しています。


①五高記念館＊


②化学実験場＊

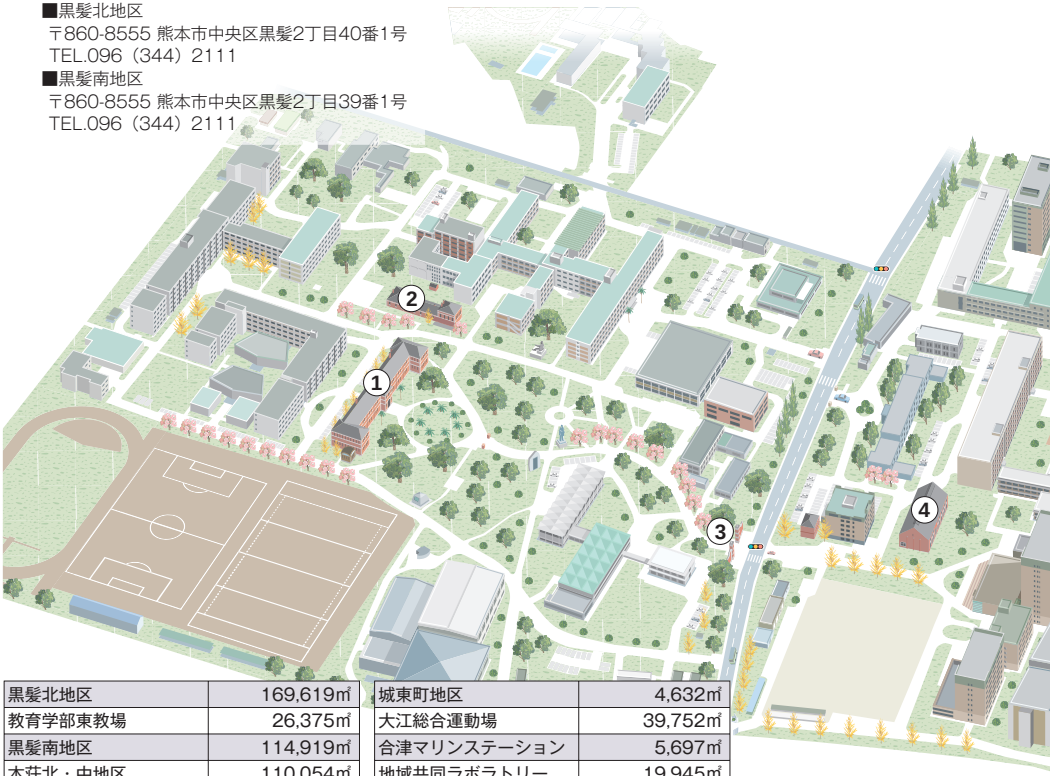

③表門（赤門）＊


④工学部研究資料館＊

＊重要文化財

黒髪キャンパス

■黒髪北地区
〒860-8555 熊本市中央区黒髪2丁目40番1号
TEL.096（344）2111
■黒髪南地区
〒860-8555 熊本市中央区黒髪2丁目39番1号
TEL.096（344）2111



黒髪北地区	169,619㎡
教育学部東教場	26,375㎡
黒髪南地区	114,919㎡
本荘北・中地区	110,054㎡
本荘南地区	25,761㎡
大江地区	53,352㎡
京町地区	51,547㎡

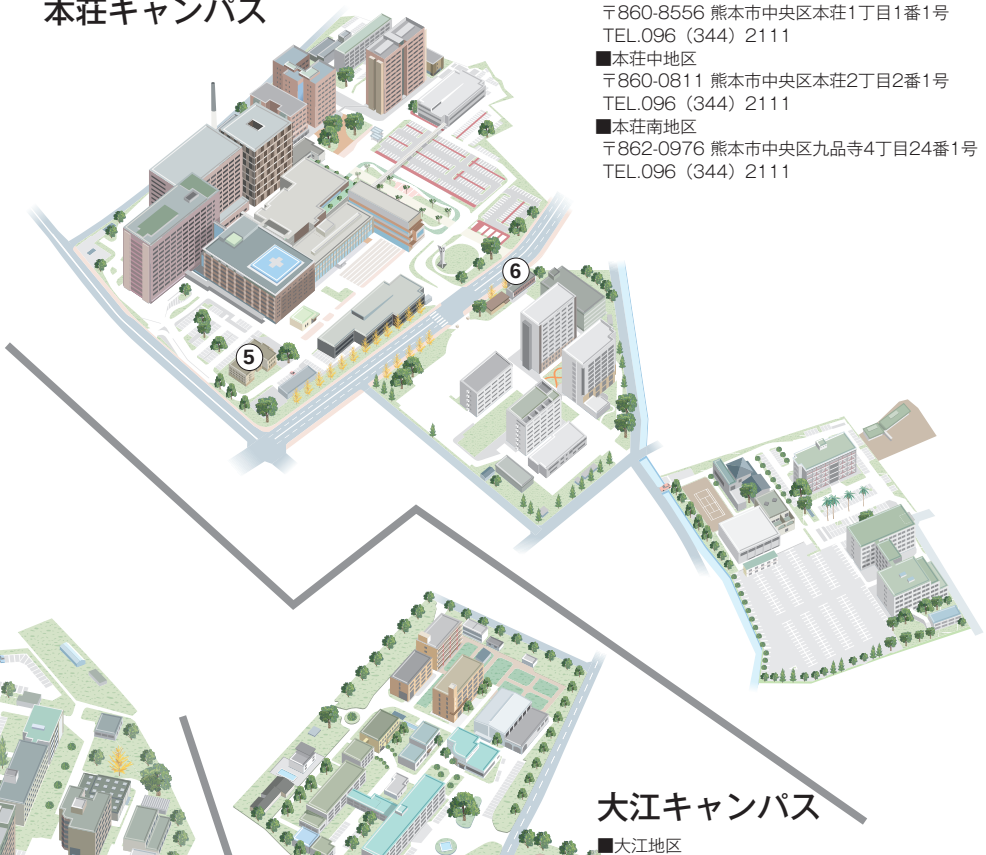
城東町地区	4,632㎡
大江総合運動場	39,752㎡
合津マリンステーション	5,697㎡
地域共同ラボラトリー	19,945㎡
その他	58,004㎡

合　計	679,657㎡

(R8.5.1現在)

本荘キャンパス

■本荘北地区
〒860-8556 熊本市中央区本荘1丁目1番1号
TEL.096（344）2111
■本荘中地区
〒860-0811 熊本市中央区本荘2丁目2番1号
TEL.096（344）2111
■本荘南地区
〒862-0976 熊本市中央区九品寺4丁目24番1号
TEL.096（344）2111



大江キャンパス

■大江地区
〒862-0973 熊本市中央区大江本町5番1号
TEL.096（344）2111



⑤山崎記念館
（登録有形文化財）

⑥肥後医育ミュージアム
（肥後醫育記念館）



⑦熊薬ミュージアム
（熊薬同窓会館）

創造する森 挑戦する炎

井上雄彦　記す

国立大学法人 熊本大学
〒860-8555
熊本県熊本市中央区黒髪 2-39-1
TEL.096-344-2111（代表）
https://www.kumamoto-u.ac.jp

VEGETABLE OIL INK